

## 聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会研究倫理審査委員会にて許可されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

① 研究課題名	カルテ記載および感染症科コンサルテーションによる黄色ブドウ球菌、およびカンジダ血症のプロセス指標			
② 実施予定期間	承認日～2019年4月（予定）			
③ 対象患者	15歳以上の黄色ブドウ球菌菌血症、およびカンジダ血症の患者			
④ 対象期間	2014年1月～2017年11月			
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院			
⑥ 対象診療科	全科			
⑦ 研究責任者	氏名	羽田野義郎	所属	感染症科
⑧ 使用する資料等	<p>診療情報より下記事項を調査します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年齢、性別、併存疾患（心疾患、冠動脈疾患、COPD、腎機能：正常、慢性腎不全、透析患者、悪性腫瘍、慢性皮膚疾患、HIV、糖尿病、28日以上ステロイド使用歴、糖尿病、肝硬変、アルコール飲酒の有無、喫煙の有無、入院中の外科手術、人工関節、培養陽性時ICUor 一般病棟、中心静脈カテーテルが挿入されていた割合、MRSA菌血症の有無、感染場所：市中、医療関連市中感染症 院内感染症、合併症の有無、）、培養陽性日、診療科、感染症科コンサルテーションの有無、合併症の有無、30日死亡率 院内死亡率</li> </ul> <p>【黄色ブドウ球菌菌血症の場合】</p> <p>陰性確認目的の血液培養のフォローの有無、感染性心内膜炎否定のための心エコーの有無、カテーテルが挿入されていた場合抜去したか、ドレナージすべき病変がある場合早期の感染症ドレナージ、MSSA、MRSAそれぞれ第1選択薬に変更したかどうかの有無、バンコマイシンおよびテイコプラニン使用時のTDM測定の有無、血液培養陰性確認後の治療期間（2週間以上、合併症があった場合4週間以上の割合、および治療期間日数）再燃の有無</p> <p>【カンジダ血症の場合】</p> <p>フォローの血液培養の有無、カテーテルのある場合、抜去の有無、好中球減少（好中球数500以下）の有無、眼科コンサルトによる眼内炎のルールアウトの有無、血液培養陰性化、あるいは症状改善後の抗真菌薬2週間以上の投与の有無および総投与期間、経過良好例では感受性検査に基づく step down 治療の有無、再燃の有無</p>			
⑨ 研究の概要	当院では、黄色ブドウ球菌とカンジダ血症の場合に、カルテ記載や電話連絡によるお知らせ、およびケアバンドル(ランダム化比較試験			

	<p>で有用性が認められた複数の手法をいくつかまとめて行うことで、最大限の効果を得る施策のこと)の内容記載、感染症コンサルテーションを行っている。それらの実施前と実施後の変化を明らかにし、ケアの質の向上を目指す。</p>			
⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2017年 12月 25日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	<p>研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。</p>			
⑫ 結果の公表	<p>国内外の学会にて発表及び論文化いたします。</p>			
⑬ 個人情報の保護	<p>個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際も、個人を特定できる情報は使用せず、特有の番号で管理します。学会で発表する場合も個人を特定できる情報は使用しません。個人情報責任者の設定や匿名化を行うことなどにより、個人情報の保護を行います。</p>			
⑭ 知的財産権	<p>聖マリア病院に属します</p>			
⑮ 研究の資金源	<p>なし</p>			
⑯ 利益相反	<p>研究結果に影響を与えるような利害関係はありません</p>			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	<p>聖マリア病院 感染症科 羽田野義郎</p>			
	電話	0942-35-3322	FAX	0942-34-3115